



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

2024年度 第3四半期 決算説明会資料

2025年2月12日
株式会社UACJ



発表のポイント

- 3Qの事業利益*は**418億円**(前年同期比 +85億円)
- 2024年度通期の事業利益予想を 455億円→**470億円**へ上方修正

1

■ 3Q累計 事業利益 418億円(前年同期比 +85億円)

- ✓ 国内：缶材、厚板等の販売が順調に進捗し、収益を確保
- ✓ 海外：北米を中心に、グローバルにおいて継続する好調な缶材需要を捕捉し、増収増益

2

■ 通期業績予想 事業利益 470億円(前期比 +36億円、前回予想比 +15億円)

- ✓ 3Qまでの業績と足元の環境を鑑み、通期業績予想を上方修正
- ✓ 4Qは、北米缶材の一部で2025年度に販売時期が変更
- ✓ 年度を通して、各種購買品のコスト・労務費等の上昇が続く

- 1. 2024年度 第3四半期業績**
- 2. 2024年度 業績予想**
- 3. 株主還元について**
- 4. 企業価値向上に向けた取り組み**
- 5. ご参考**

1. 2024年度 第3四半期業績



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

第3四半期 業績

(単位:億円)	2023年度 3Q累計 (A)	2024年度 3Q累計 (B)	増減 (B) - (A)
売上収益	6,603	7,384	781
事業利益	333	418	85
棚卸資産影響等	△111	75	185
営業利益	222	493	271
親会社の所有者に帰属する当期利益	68	250	182
1株あたり当期利益 (円 / 株)	141	517	376
Adjusted EBITDA*	605	701	96

アルミ板 品種別売上数量

(単位:千トン)

品種	2023年度 3Q累計 (A)	2024年度 3Q累計 (B)	増減 (B)-(A)
缶材*	576	630	54
箔地	34	32	△ 2
IT材	6	8	2
自動車材	107	102	△ 5
厚板	24	32	8
その他一般材	130	141	11
合計	877	945	68
国内市場向け	355	372	17
海外市場向け	522	573	51

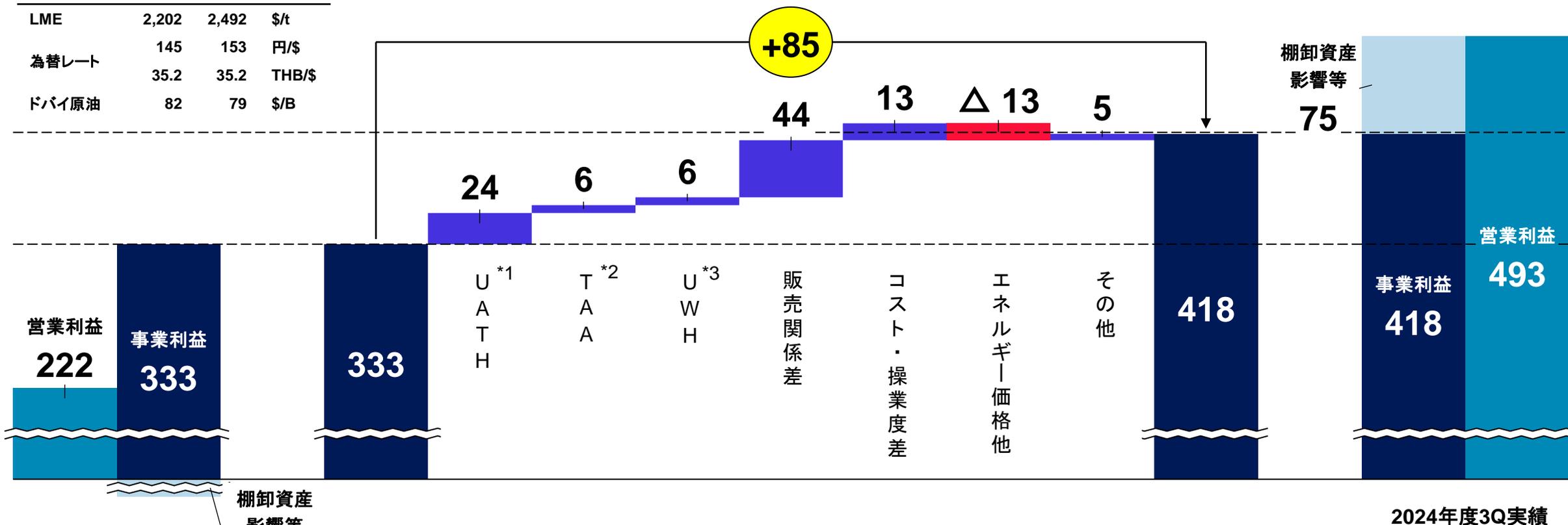
事業利益分析 (2023年度3Q累計 → 2024年度3Q累計)

事業利益: **333億円** (2023年度3Q累計) → **418億円** (2024年度3Q累計)

(棚卸資産影響額: △ 111億円(2023年度3Q) → 75億円(2024年度3Q)、前年同期比 +185億円)

通期前提条件(FY23 3Q→FY24 3Q)

LME	2,202	2,492	\$/t
為替レート	145	153	円/\$
	35.2	35.2	THB/\$
ドバイ原油	82	79	\$/B



*1 UATH
*2 TAA
*3 UWH

UACJ (Thailand) Co., Ltd.
Tri-Arrows Aluminum Holding Inc.
UACJ Automotive Whitehall Industries, Inc.

連結財政状態計算書

棚卸資産の増加により、運転資金が増加

連結財政状態計算書

(単位: 億円)	24/3末 (A)	24/12末 (B)	増減額 (B-A)
現金及び現金同等	402	366	△36
営業債権及びその他の債権	1,797	2,137	340
棚卸資産	1,879	2,461	582
その他の流動資産	234	258	24
有形固定資産	3,852	3,990	139
その他の非流動資産	981	975	△5
資産合計	9,144	10,187	1,043
営業債務及びその他の債務	1,417	1,468	52
借入金	3,109	3,570	461
その他	1,599	1,716	117
親会社の所有者に帰属する持分合計	2,770	3,141	371
非支配持分	250	292	42
負債及び資本合計	9,144	10,187	1,043

資金運用表

	用途	調達
長期 資金	設備投資等	248
	法人税等支払	62
	配当金支払	62
	長期資金余剰	311
短期 資金	棚卸資産の増加	509
	債権債務増減他	249
	短期資金不足	759

長期資金 311 億円

短期資金 △759 億円

合計 △448 億円

連結キャッシュ・フロー計算書

2024年度末のD/Eレシオ目標水準 1.0倍を維持

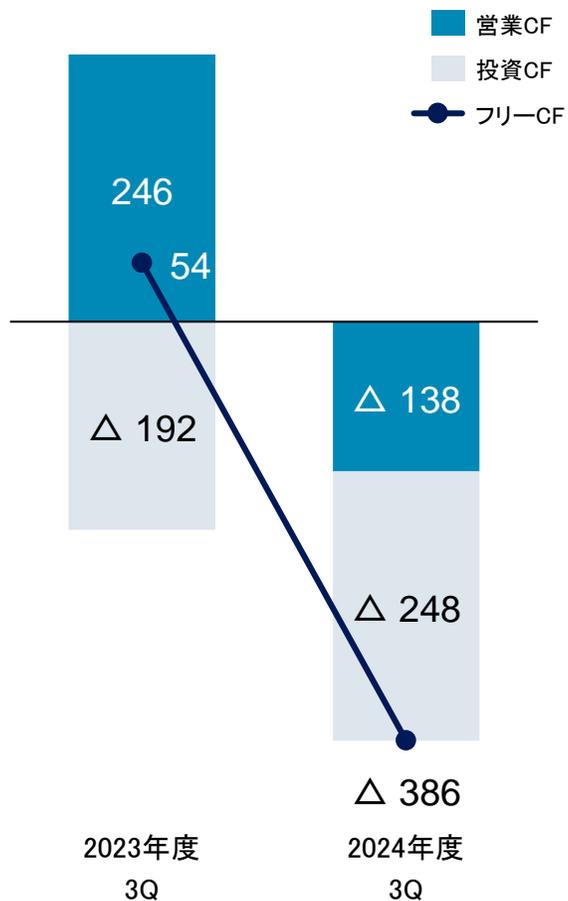
2024年度3Q 連結キャッシュフロー

(単位:億円)

税引前利益	400
減価償却費	283
債権債務増減他	△821
営業キャッシュフロー計	△138
設備投資 他	△248
フリーキャッシュフロー	△386
ファイナンススキーム・配当他	△35
現預金増減(△は増加)	36
外貨建て借入金換算差(△は増加)	△77
有利子負債(△は増加)	△461

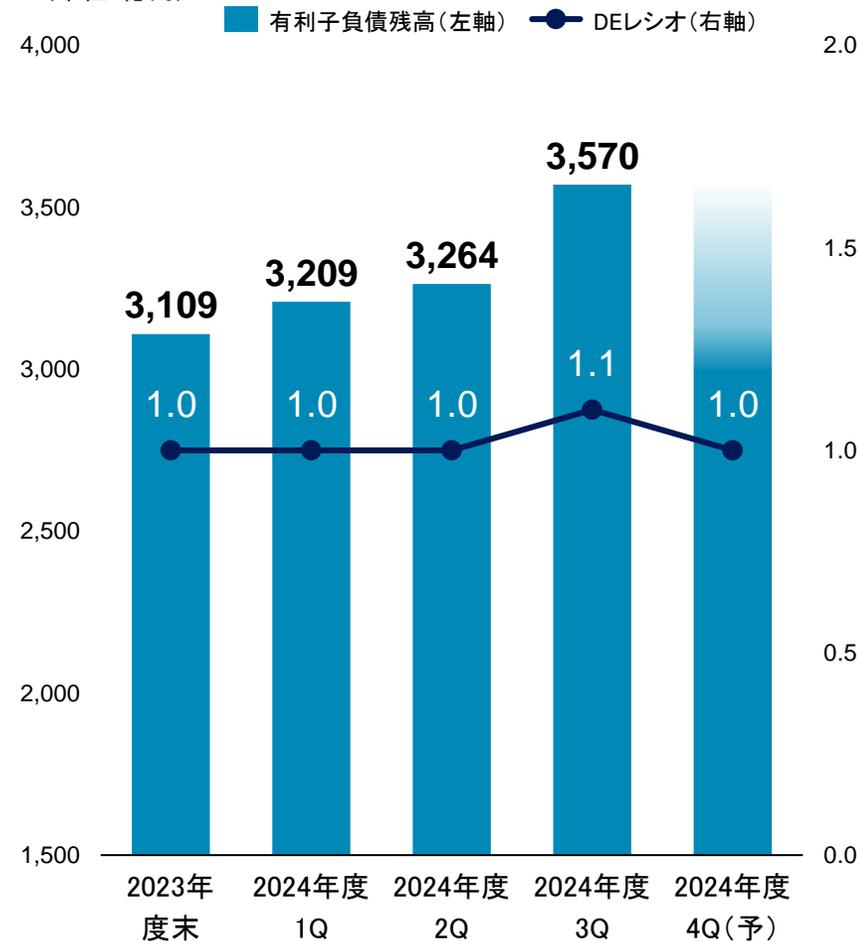
連結キャッシュフロー 推移

(単位:億円)



有利子負債残高・D/Eレシオ*

(単位:億円)



* D/Eレシオは劣後ローンの資本性を考慮

設備投資・減価償却費

設備投資は減価償却の範囲内を堅持

(単位:億円)		2024年度3Q 実績	2024年度 見通し	2024~27年度 計画	2021~23年度 実績
設備投資	一般投資	119	160	820	556
	戦略投資	124	205	780	247
	合計	243	365	1,600	803
減価償却費		283	365	1,600	1,018

外部環境の変化点

中国 輸出増値税還付制度の見直し

(11/15)

輸出増値税還付制度の見直しを発表

→ アルミ・銅に対して13%の税還付を廃止とする

(12/1)

輸出増値税の還付制度廃止を開始

米国 関税政策の動向

(1/31)

鉄鋼・アルミ・銅製品に対し、関税を課する予定を表明

(2/1~4)

対カナダ、メキシコ → 25%の関税を発表

対中国 → 10%の追加関税を発表(従来の25%に追加)

→ 対中国には実行、対カナダ・メキシコは対話が続く

(2/10)

鉄鋼・アルミ製品に対し、25%の関税を課すことを表明

⇒ 状況を注視

UACJグループへの影響

税還付廃止に伴う中国材採用のコスト増加

→国内での事業、TAA、UATHの価格競争力の改善

→新規取引のチャンス拡大

米国内拠点(TAA、UWH)のプレゼンス向上

→販売量の増加:TAAの増産投資を最大活用

→新規取引、成長投資のチャンス拡大

インフレによるコストインパクトを懸念

タイ(UATH)の状況

グローバルでの缶材需要を確実に取り込んで販売数量を拡大し、増収増益

総括

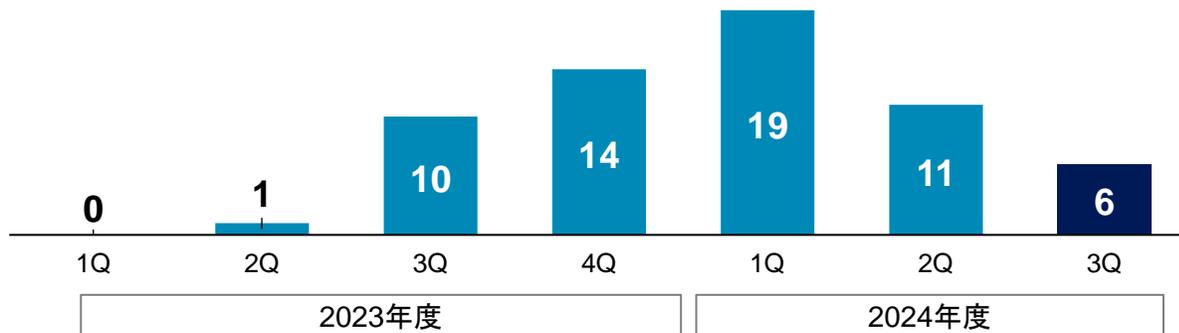
- 需要** : グローバルでの缶材の需要は順調に推移
- 販売** : **【北米向け】**
缶材需要回復に応じ、製品の出荷を継続
【ASEAN・その他地域】
- ・ 新規顧客の開拓を進め、販売展開エリアを拡大
 - ・ 12月からの中国増値税還付の廃止により、引き合いが増加
- 損益** : ・ 販売数量の拡大で売上が伸長

(単位:億円)	23年度 3Q累計 (4~12月)	24年度 3Q累計 (4~12月)	前年同期比
販売量(千t)*	192	226	34
売上収益	1,058	1,468	410
営業利益	2	54	52
事業利益	12	36	24

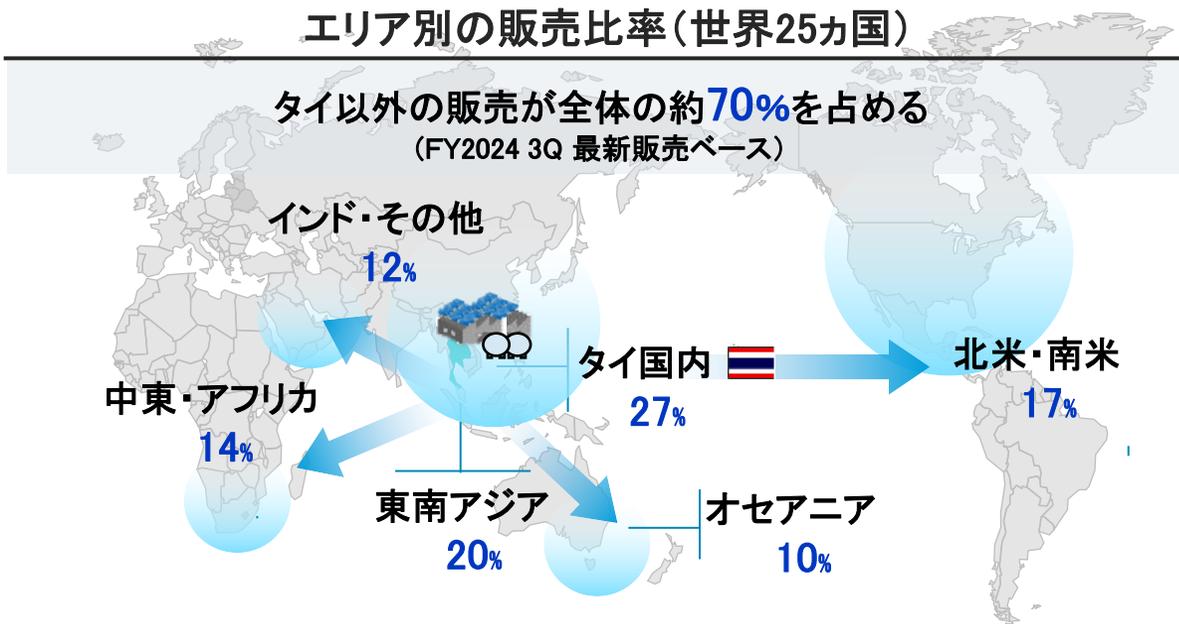
*TAAへの出荷分含む
© UACJ Corporation. All rights reserved.

※2023年度からの業績推移はP33をご参照ください。

事業利益推移(億円)



エリア別の販売比率(世界25カ国)



米国(TAA)の状況

缶材のサプライチェーン全体での需要が堅調に推移

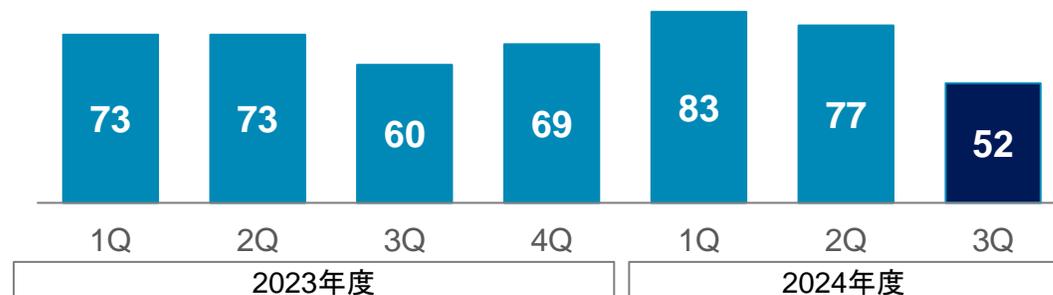
総括

- 需要** : • 北米の缶材需要の拡大傾向は変わらない
- 生産** : • 高水準での生産が継続
• 設備増強投資は順調に進捗
- 販売** : • 販売の好調が継続(22千t増)
• 4Qは、北米缶材の一部で2025年度に販売時期が変更

(単位:億円)	23年度 3Q累計 (4~12月)	24年度 3Q累計 (4~12月)	前年同期比
販売量(千t)	311	333	22
売上収益	1,814	2,118	304
営業利益	137	255	118
事業利益	206	212	6

※2023年度からの業績推移はP33をご参照ください。

事業利益推移(億円)



米国缶材需要の推移



出典: UACJ調査による

米国(UWH)の状況

EV向けの販売量が減少、コストダウン施策の徹底を継続

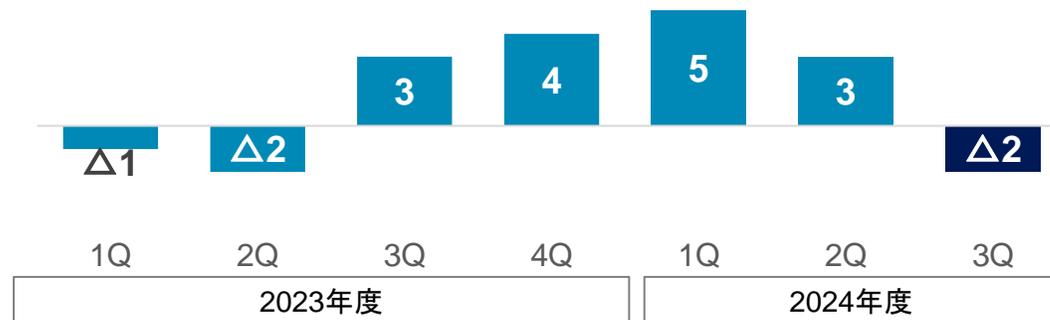
総括

- 事業環境** :
 • 環境規制等により、車体の軽量化ニーズは強まる
 • EV市場は足元で伸び悩むも、HV/ICE市場の伸長が続き、自動車市場全体の中長期的な成長には変化はないと見通す
- 販売** :
 • 日系OEMへの安定的な販売が継続
 • 車体軽量化等の需要を取り込み、新規案件取得に向けて活動
- 損益** :
 • EV向けの販売量が減少
 • 2023年度下期からのコストダウン施策の徹底を継続

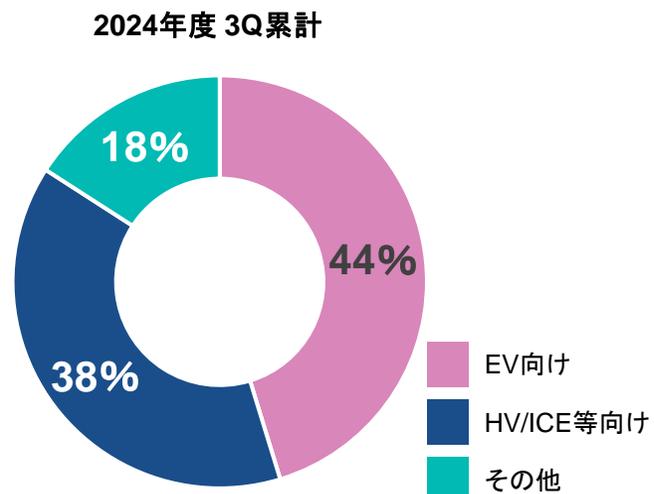
(単位: 億円)	23年度 3Q累計 (4~12月)	24年度 3Q累計 (4~12月)	前年同期比
売上収益	310	278	△ 32
営業利益	7	4	△ 3
事業利益	△ 0	6	6

※2023年度からの業績推移はP33をご参照ください。

事業利益推移(億円)



売上構成比



4Q以降の事業認識

- 【4Q】**
- 顧客の生産は回復する見通し
- 【外部環境の変化】**
- 米国の関税政策を背景とし顧客からの引き合いが増加、需要を確実に捉える
 - 米国の環境政策の動向(EV補助金等)を注視

2. 2024年度 業績予想



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

発表のポイント

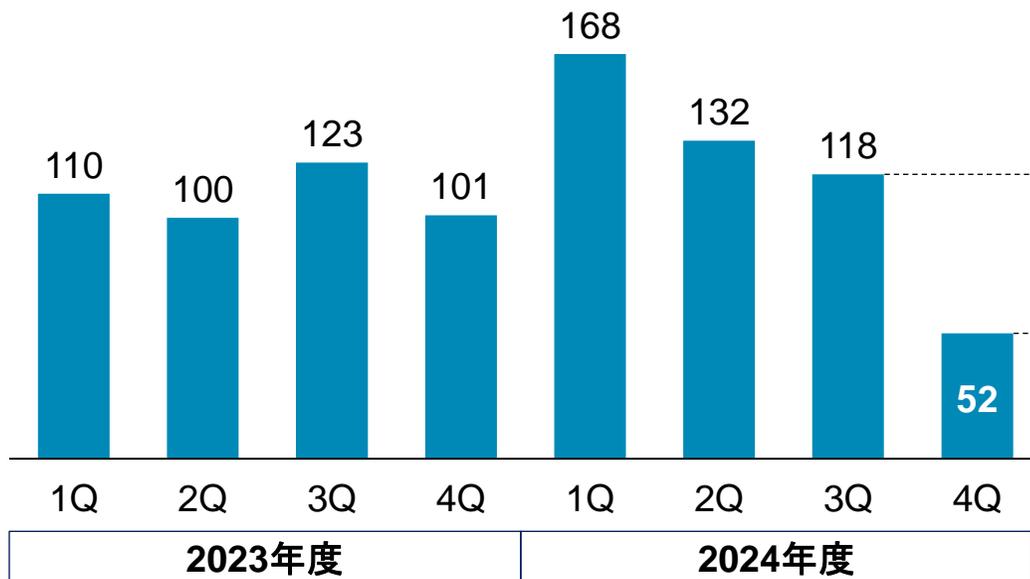
2024年度の状況および通期見通し

- ✓ 3Q累計販売実績: 期初想定を上回って着地
海外...グローバル全体での好調な販売
国内...品種構成の好転
(缶材: 需要期の販売増、厚板: 流通在庫の適正化による一時的な需要増)
- ✓ 4Q: 一部販売の来期繰り越しや、
一過性コストの発生等の影響を受ける見通し



事業利益
470億円

四半期事業利益推移(億円)



第4四半期の事業利益減少の主な要因

- ① 一部販売が来期へ
中国の増値税の還付廃止により、北米で中国材の駆け込み需要が生じ、当社の販売の一部が来期に持ち越される見通し
- ② 一過性コストの発生
年度末決算整理(IFRS)
年末年始補修、一部設備の除売却
- ③ 各種コスト増
労務費の上昇、加工費、物流費、保全費用、副資材を含む各種購買品のコスト上昇
→ 価格改定交渉へ(2025/1/30公表)

2024年度 通期業績見通し

3Qまでの業績と足元の環境を鑑み、通期業績予想を上方修正

(単位:億円)	2023年度 実績(A)	2024年度 最新(B)	差異 (B)-(A)	(参考)	
				2024年度 8月時点(C)	差異 (C)-(B)
売上収益	8,928	9,900	972	9,300	600
事業利益	434	470	36	455	15
棚卸資産影響等	△ 120	90	210	10	80
営業利益	314	560	246	465	95
親会社の所有者に帰属する当期利益	139	260	121	205	55
1株あたり当期純利益(円/株)	287	539	252	425	114
Adjusted EBITDA	798	847	49	820	27
年間配当	90円/株	140円/株	50円/株	140円/株	0円/株

通期前提条件

	FY23 実績	FY24 3Q実	FY24 4Q予	
LME	2,202	2,492	2,600	\$/t
為替レート	145	153	155	円/\$
	35.2	35.2	34.0	THB/\$
ドバイ原油	82	79	75	\$/B

アルミ板 品種別売上数量

(参考)

(単位:千トン)

品種	2023年度 実績(A)	2024年度 最新(B)	差異 (B)-(A)	2024年度 8月時点(C)	差異 (B)-(C)
缶材*	791	852	61	854	△ 2
箔地	45	42	△ 3	45	△ 3
IT材	8	10	2	10	0
自動車材	142	134	△ 8	139	△ 5
厚板	34	42	8	38	4
その他一般材	175	185	10	175	10
合計	1,195	1,265	70	1,262	3
国内市場向け	475	492	17	485	7
海外市場向け	720	771	51	777	△ 6

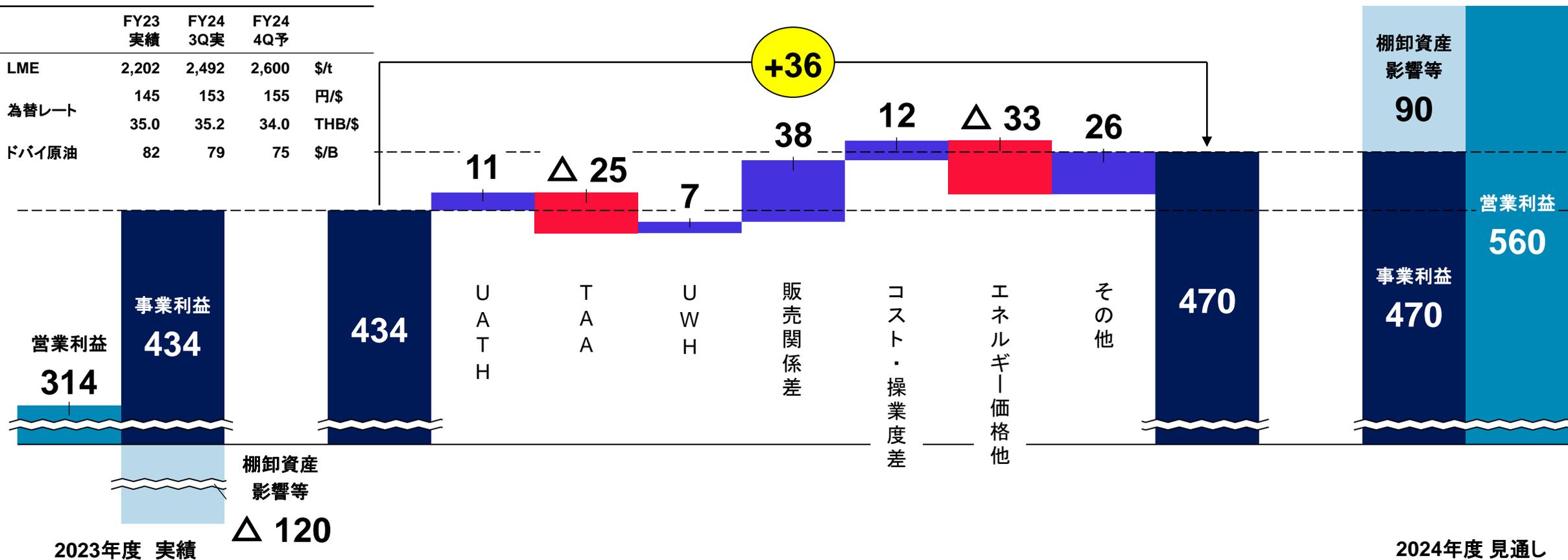
事業利益分析 (2023年度 → 2024年度最新見通し)

事業利益: **434億円** (2023年度) → **470億円** (2024年度最新見通し)

(棚卸資産影響額: Δ 120億円(2023年度) → 90億円(2024年度最新見通し)、前年度比 +210億円)

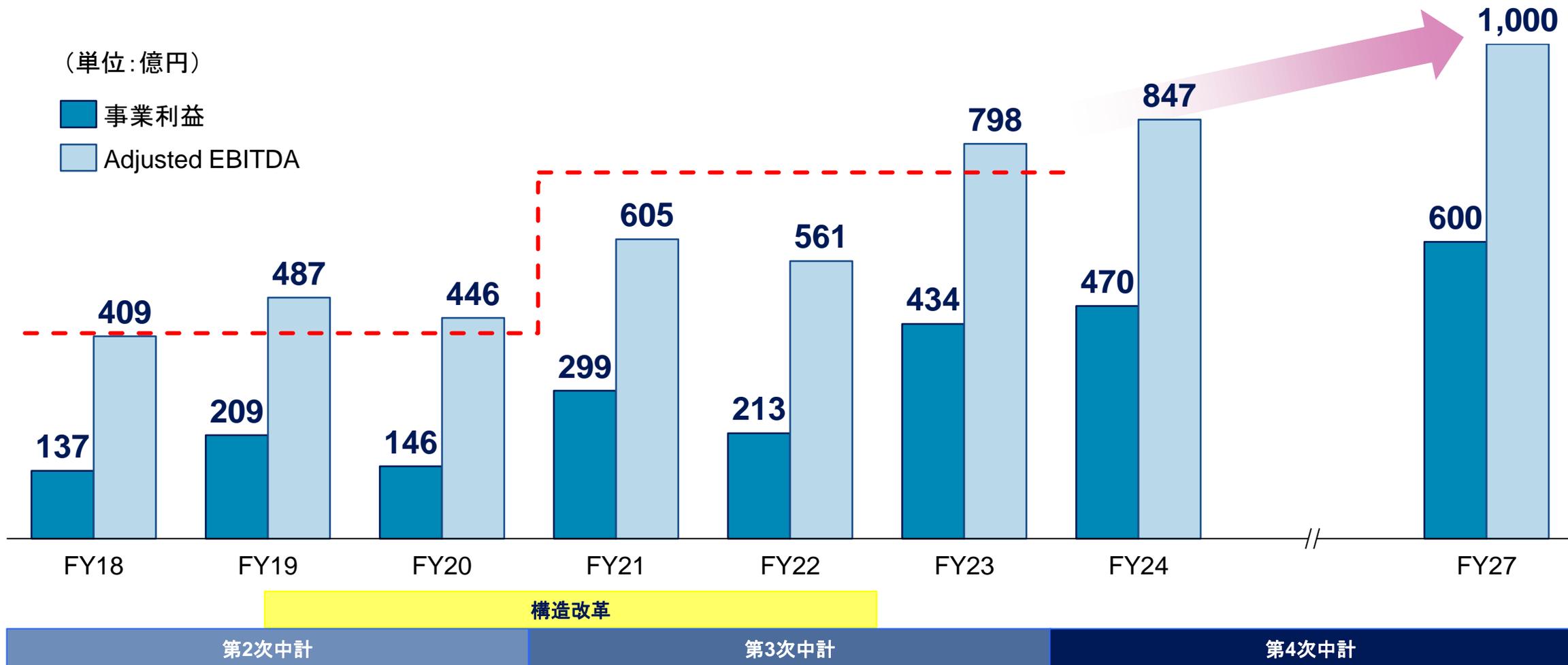
通期前提条件

	FY23 実績	FY24 3Q実	FY24 4Q予	
LME	2,202	2,492	2,600	\$/t
為替レート	145	153	155	円/\$
ドバイ原油	35.0	35.2	34.0	THB/\$
	82	79	75	\$/B



事業利益 推移

“稼ぐ力”は着実に進化、第4次中期経営計画達成に向けて計画通り推移



3. 株主還元について



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

株主配当

株式価値の向上に向けて

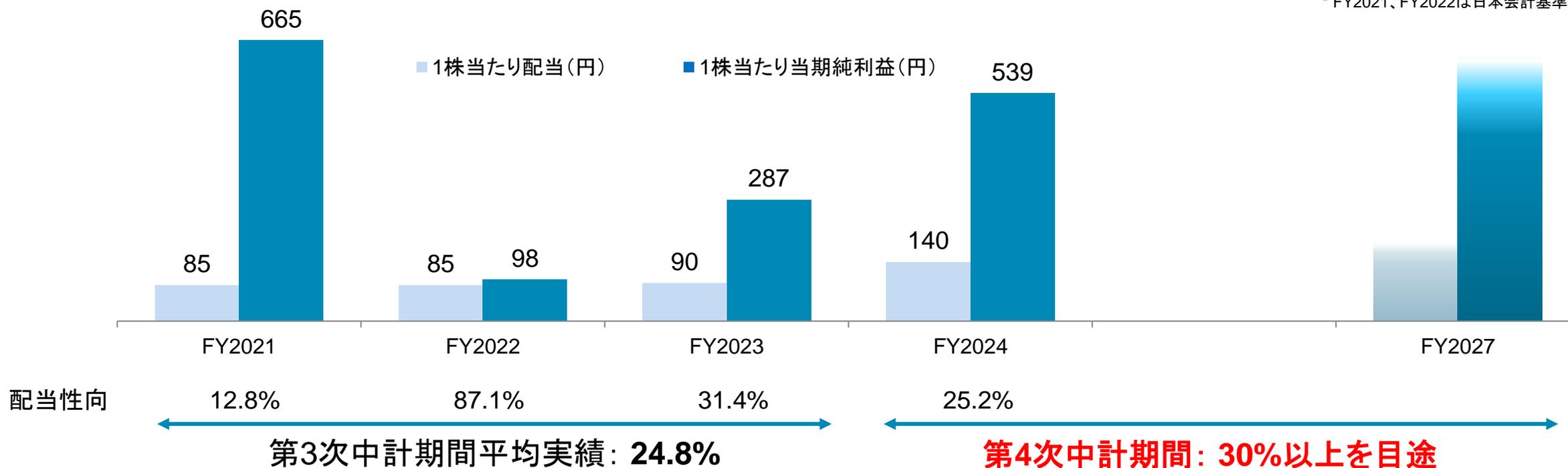
確実な利益・キャッシュフローの確保、資本市場との継続的な対話を実施し、
株式価値向上の実現を目指す

<株主還元基本方針>

安定的かつ継続的な配当

→第4次中期経営計画(24~27年度)の期間中の
配当性向は、最終利益*2の30%以上を目途

* FY2021、FY2022は日本会計基準



4. 企業価値向上に向けた取り組み



UACJ

Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

株式価値最大化に向けて (第4次中計にて公表)

ROEの改善 (目標9%以上)

- 事業利益目標：600億円
- ROIC目標：9%以上
- 価値創造プロセス見直し
- 事業戦略の策定
- 成長シナリオの構築

エクイティ・スプレッド

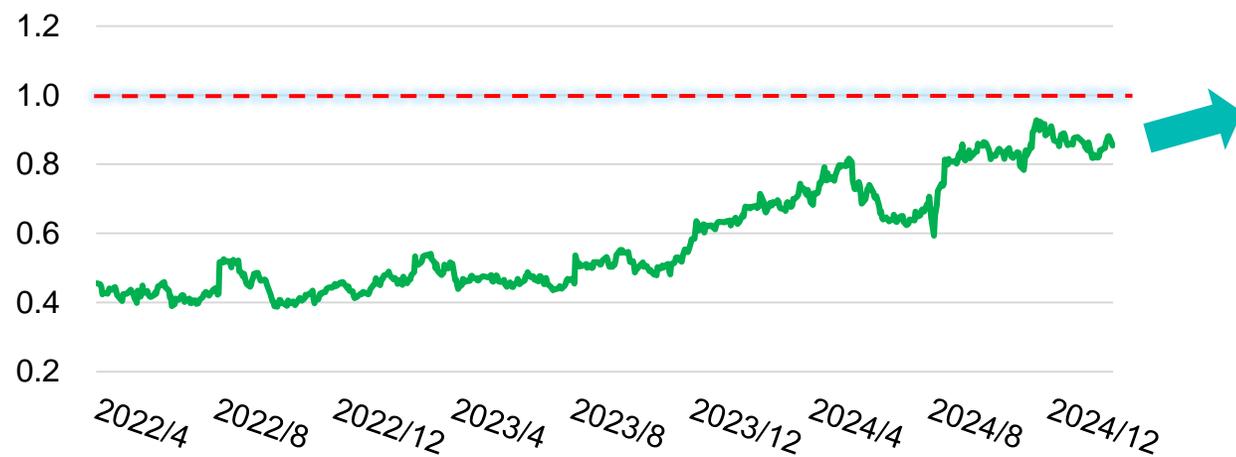
早期に
1%以上に

株式価値最大化
(PBR1.0倍以上)

資本コスト低減 (目標7%台) 期待成長率の引き上げ

- 最適資本構成の実現
- 配当性向30%以上
- サステナブルな事業戦略の策定
- 非財務分野での価値創出
- 情報開示、エンゲージメント強化

PBRの推移



次世代アルミ飲料缶蓋 「EcoEnd™」の展開

環境負荷低減への貢献を評価され
国際賞を受賞

The Canmaker Magazineが主催する「The Canmaker Cans of the Year Awards 2024^{*1}」において、「Ends, Caps & Closures部門」金賞、「Sustainability部門^{*2}」、「Delegates' Choice^{*3}」の3つの賞を受賞



「Ends, Caps & Closures部門」金賞受賞の様子
(左から、東洋製罐 テクニカルセンター 磯村遼太郎氏、UACJ 缶材料開発部 室長 工藤智行、
主催者側プレゼンター、東洋製罐 テクニカルセンター 中野修治氏)

*1 「The Canmaker Cans of the Year Awards」は、The Canmaker Magazineが1996年から毎年主催する、金属包装業界における技術の開発や革新を称える国際的な賞

*2 ノミネートされた全部門の製品の中から、持続可能な社会の実現に資するものに贈られる賞。今回は、唯一、EcoEnd™が受賞。

*3 ノミネートされた全部門の製品の中から、来場者投票による得票が一番多かったものに贈られる賞

国内ビール4社で、2025年2月以降順次採用

2024年12月10日、アサヒビール株式会社様、キリンビール株式会社様、サッポロビール株式会社様、サントリー株式会社様が、持続可能な社会の実現に向けて取り組みを加速すべく、EcoEnd™を採用したことを4社共同で公表。

2025年2月以降順次、各社が販売するビール類の一部商品へ採用。
環境負荷を低減する資材を4社共通で採用することは国内初となる。

Eco End
made with a new endless loop



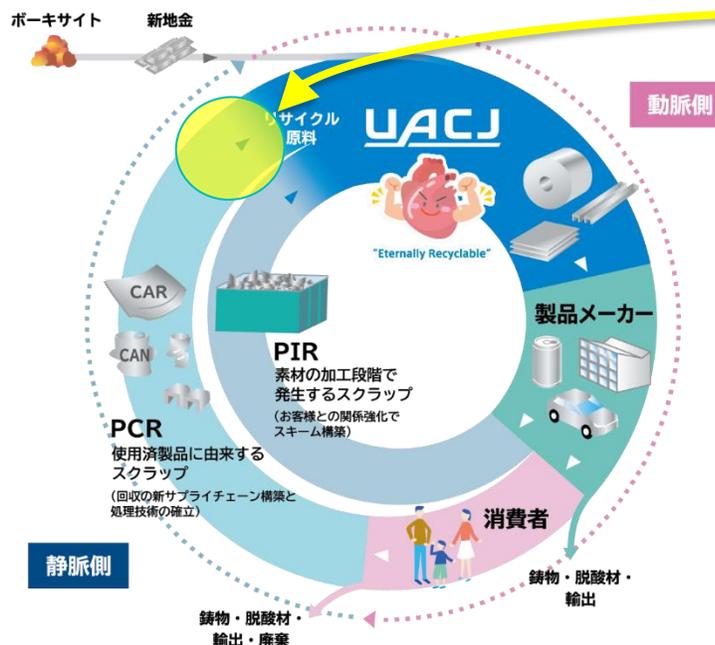
「EcoEnd™」は、GHG排出量を大幅に削減するとともに、従来の缶蓋と同等の性能を実現した次世代の製品。東洋製罐株式会社様と共同で開発。

従来の缶蓋は新地金を多く使用しており、その製造過程で多量のGHGが排出されていた。これに対し、「EcoEnd™」は使用済み飲料缶(UBC: Used Beverage Can)などのリサイクル原料の使用割合を大幅に引き上げることで、従来の缶蓋に比べGHG排出量を約4割削減し、環境負荷を大きく低減することを可能にした。

環境と経済安全保障の両立

- ✓ Scope3(原材料)におけるGHG*1排出量を大幅に削減
- ✓ ボーキサイトの新規採掘を抑制し、ネイチャーポジティブに貢献
- ✓ 国内循環により、経済安全保障に資するアルミニウムを安定的に確保

対象領域



対象設備の稼働がリサイクルループで影響を持つ領域

株式会社日本格付研究所による評価結果

【Green1(F)】の認定

アルミニウムの循環型社会の形成に重要な取り組みであり、環境改善効果へ期待できるものと評価

- GHG排出削減効果
- 資源の最大限の有効活用

対象事業

主な対象設備と事業者	<ul style="list-style-type: none"> • UBC*2からDCC*3に加工する設備(山一金属との合併会社) • DCCを溶解し、圧延材料とする設備(UACJ)
設置場所	UACJ 福井製造所内
稼働計画	2025年中の稼働開始

*1 GHG 温室効果ガス。Greenhouse gasの略

*2 UBC: 使用済み飲料缶 (Used Beverage Can)

*3 DCC: Delacquered Can Chip

CDP2024スコア「気候変動」、「水セキュリティ」で「A-」を取得



CDP*1による調査「CDP2024」において、
「気候変動」「水セキュリティ」の両部門で
“リーダーシップレベル”「A-」の評価を取得

UACJグループは、「気候変動への対応」などの課題に向き合い、UACJリサイクル率*2・Scope3におけるGHGの排出量削減や水の取水量削減についての定量目標を掲げて活動を展開し、開示情報の充実に務めた結果、気候変動と水セキュリティの部門で、当社にとって初めてとなる「A-評価」を獲得しました。

CDP2023の「B」評価から当社の取り組みが進化したことが評価されたものと認識しています。

評価内訳	
リーダーシップレベル	A
	A-
マネジメントレベル	B
	B-
認識レベル	C
	C-
情報開示レベル	D
	D-

*1 CDP ロンドンに本部を置き、全世界18,000社以上の企業を対象に環境への取り組みに関する評価・開示を行う国際的な非政府組織。

*2 UACJリサイクル率 UACJグループ独自に設定した、溶解炉への装入量に対する循環アルミ量の割合。2030年度目標を80%に据える。

パラリンアートへの協賛活動

第4回パラリンアートコンテスト受賞作品を発表

「Aluminum lightens the world」を描く

世界を軽やかに、明るくする「アルミ」の無限の可能性について、自由なイメージを表現した幅広い作品を募集。

79件のご応募がありました。

その中から当社グループの従業員のWeb投票により、グランプリ1作品とUACJ賞2作品を選出しました。



当社がゴールドパートナーとして協賛する一般社団法人障がい者自立推進機構(パラリンアート)と共同でコンテストを実施

UACJウェイの「相互の信頼と尊重」に基づき、共生・共創社会のさらなる推進を目指してまいります

当社グループは一般社団障がい者自立推進機構の取り組み方針に賛同し、障がい者アーティストによるチャレンジ、成功体験、社会的地位のステップアップ、賞金による経済的自立推進を支援しながら、同時に、ゴールドパートナーとして活動を支援することを通じて社会的認知の拡大、企業価値の向上を目指してまいります。

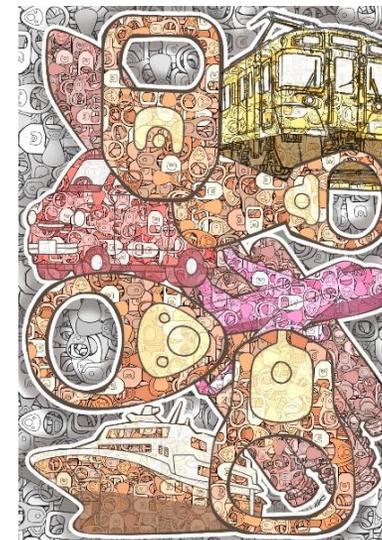
大賞



ケンタさん

「アルミの仕事で得たお金で出発する明るく軽やかな大冒険」

UACJ賞



竹ちよさん
「タブから生まれ変わる未来」



tontonkikakuさん

「アルミと私たちの近未来」

(追加情報) 自己株式取得について (2025年2月12日公表)

TostNeT-3による自己株式の取得と、その消却を行うことを決議

取得の内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	300万株(上限) (発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 6.22%)
(3) 株式の取得価額の総額	165億円(上限)
(4) 取得結果の公表	2025年2月13日午前8時45分の取引時間終了後に取得結果を公表いたします

- ・ 当該株式数の変更は行いません。市場動向等により一部または全部の取得が行われない場合があります。
- ・ 取得予定株式数に対当する売付注文をもって買付けを行います。

消却にかかる事項の内容

(1) 消却する株式の種類	当社普通株式
(2) 消却する株式の総数	上記により取得する自己株式のうち、株式報酬等として充当を見込む株数(100万株)を除いた全株式数
(3) 消却予定日	2025年3月14日

- ・ 消却する株式の数は、上記による自己株式の取得完了後、改めてお知らせします。

ご参照) [IRニュース: グローバル アルミニウム メジャーグループ 株式会社UACJ](#)

5. ご参考



Aluminum lightens the world
アルミでかなえる、軽やかな世界

企業理念とサステナビリティ基本方針

美しく豊かな地球がずっと続く未来へ

Environmental Sustainability / 緑豊かな青い地球

Business 事業

事業を通じて
軽やかな未来を創造するために



環境 Environment

緑豊かな青い地球を
未来に継承するために



誰もが幸せを感じられる 健やかで調和のとれた社会へ

Well-being / ウェルビーイング

100年後の軽やかな世界のために

私たちの毎日の暮らしを支える素材、アルミニウム。
自由にカタチを変え、無限の可能性を持つ素材。
同じものとして、何度でも生まれ変わることができる
この特徴は、アルミニウムならではの。
言わば「サステナブル(持続可能)な素材」です。

そんなアルミニウムの持つ力を
技と術で引き出してきたUACJだからできること。

それは、美しく豊かな地球がずっと続く未来が実現できるよう、
これまで受け継いできた叡智と情熱を胸に
地球環境が抱えるさまざまな課題と向き合い
環境に配慮した事業を営んでいくこと。

さらに、誰もが幸せを感じられる健やかで調和のとれた社会が実現するよう、
あらゆる人々の多様性を尊重し地域社会との共生・共創を通して、
ステークホルダーの皆さまとともに社員一人ひとりが、考え、行動すること。

アルミとあしたへ。
未来の子どもたちに、美しい地球を。サステナブルな社会を。
それがUACJの考える「軽やかな世界」です。

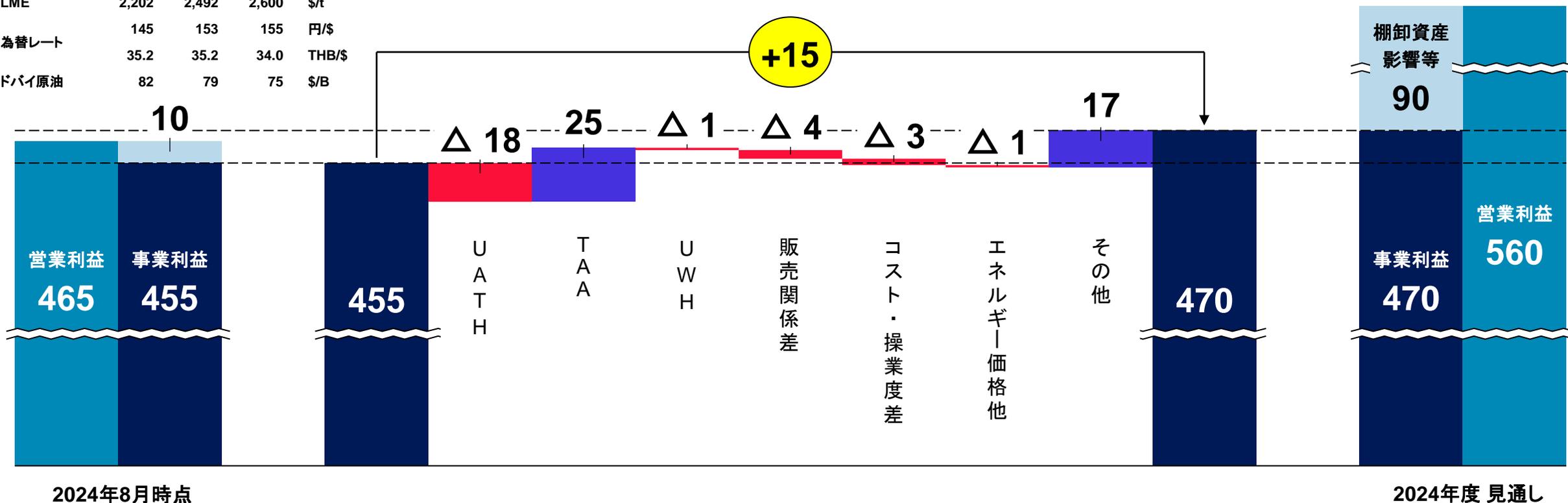
事業利益分析 (2024年8月時点 → 2024年度最新見通し)

事業利益: **455億円** (2024年度8月) → **470億円** (2024年度最新見通し)

(棚卸資産影響額: 10億円(2024年8月) → 90億円(2024年度最新見通し)、前回予想比 +80億円)

通期前提条件

	FY23 実績	FY24 3Q実	FY24 4Q予	
LME	2,202	2,492	2,600	\$/t
為替レート	145	153	155	円/\$
ドバイ原油	35.2	35.2	34.0	THB/\$
	82	79	75	\$/B



5. ご参考

主要指標推移

日本会計基準					I F R S						(単位:億円)
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 1Q(単)	2024年度 2Q(単)	2024年度 3Q(単)	2024年度 3Q(累)	2024年度 (最新見通し)	
連結売上高	6,152	5,698	7,829	9,629	8,928	2,476	2,383	2,513	7,384	9,900	
連結営業利益	101	111	595	172	314	219	138	136	493	560	
事業利益	-	-	-	-	434	168	132	118	418	470	
棚卸資産影響前 連結経常利益	98	62	213	161	-	-	-	-	-	-	
連結経常利益	38	60	523	87	-	-	-	-	-	-	
親会社株主に帰属する 当期純利益	20	△33	321	47	139	147	23	83	250	260	
設備 投資	一般投資	143	109	129	210	217	35	65	19	119	-
	戦略投資	347	72	79	54	114	24	23	77	124	-
	合計	489	181	207	264	331	59	88	96	243	-
減価償却費	312	334	340	373	364	94	93	96	283	-	
有利子負債残高	3,440	3,358	3,394	3,367	3,109	3,209	3,264	3,570	3,570	-	
R O E (%)	1.1	△1.8	15.6	1.9	5.3	-	-	-	-	-	
R O I C (%)	1.9	2.2	11.1	3.0	7.5	-	-	-	-	-	
D / E レ シ オ (倍)	1.56	1.56	1.36	1.25	1.0	-	-	-	1.1	-	
営業キャッシュフロー	581	386	78	526	949	△41	△80	△138	△138	-	
投資キャッシュフロー	△300	△210	△210	△269	△362	△99	△199	△248	△248	-	
フリーキャッシュフロー	281	177	△132	257	587	△140	△278	△386	△386	-	
株主資本(日本基準)	1,827	1,775	2,090	2,096	2,105	2,228	2,232	2,258	-	-	

海外主要子会社 業績推移

(単位:億円)

UATH

	2023年度						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
販売量(千トン)	62	65	126	65	65	130	257
売上収益	340	352	692	366	367	734	1,426
営業利益	△ 14	0	△ 13	15	4	18	5
(棚卸資産影響)	△ 14	△ 1	△ 15	4	△ 11	△ 6	△ 21
事業利益	0	1	1	10	14	25	26

	2024年度					
	1Q	2Q	上期	3Q	3Q累計	通期見通し
販売量(千トン)	72	77	149	78	226	307
売上収益	453	494	947	521	1,468	2,008
営業利益	52	7	59	△ 5	54	66
(棚卸資産影響)	33	△ 4	29	△ 11	18	29
事業利益	19	11	30	6	36	37

TAA

	2023年度						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
販売量(千トン)	98	110	208	103	122	225	433
売上収益	570	648	1,219	595	722	1,317	2,536
営業利益	66	34	101	36	63	99	200
(棚卸資産影響)	△ 7	△ 38	△ 45	△ 24	△ 6	△ 30	△ 75
事業利益	73	73	146	60	69	129	275

	2024年度					
	1Q	2Q	上期	3Q	3Q累計	通期見通し
販売量(千トン)	109	118	227	106	333	444
売上収益	713	721	1,434	685	2,118	2,895
営業利益	107	75	181	73	255	298
(棚卸資産影響)	24	△ 2	22	21	43	48
事業利益	83	77	160	52	212	249

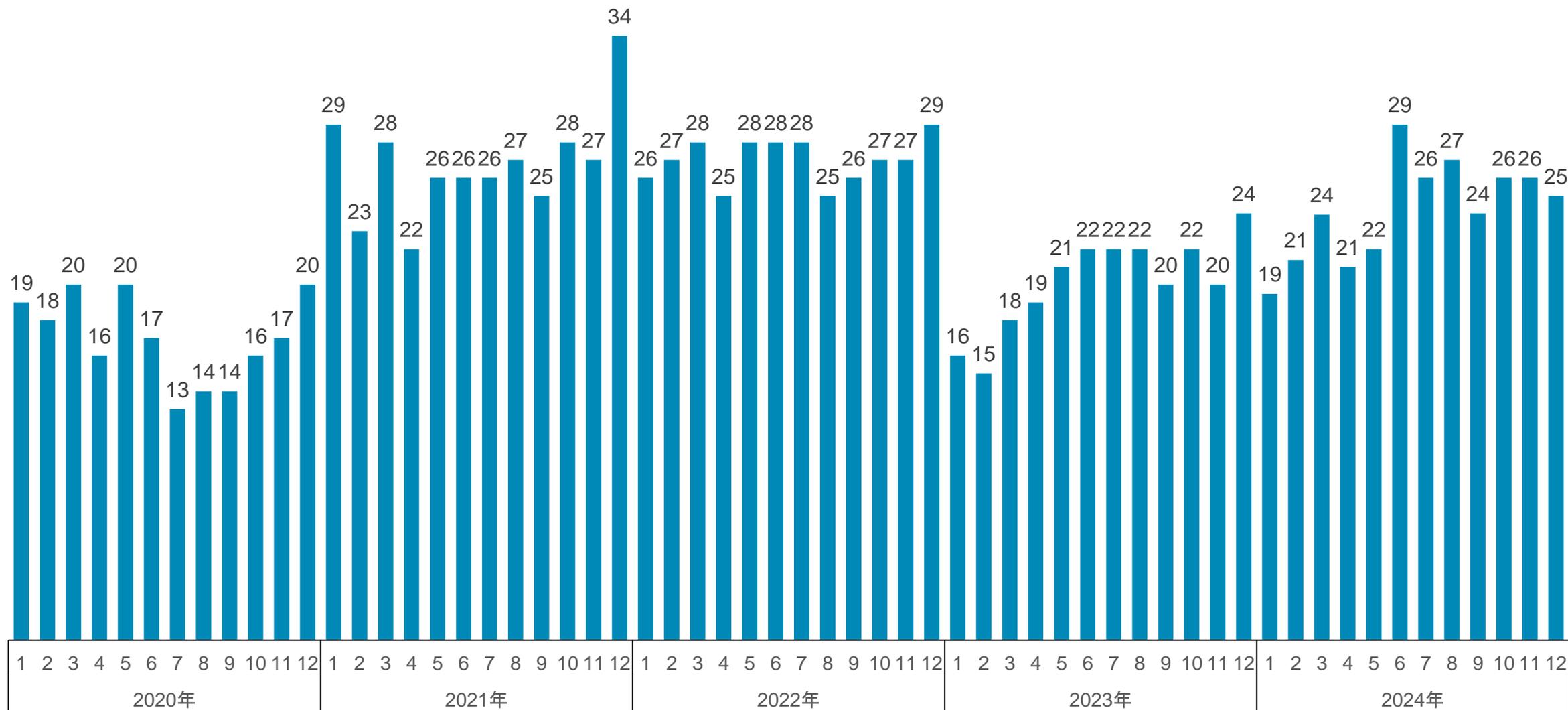
UWH

	2023年度						
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期
売上収益	105	104	210	100	107	207	417
営業利益	1	2	3	4	4	8	11
(棚卸資産影響)	2	4	6	1	0	1	7
事業利益	△ 1	△ 2	△ 3	3	4	7	4

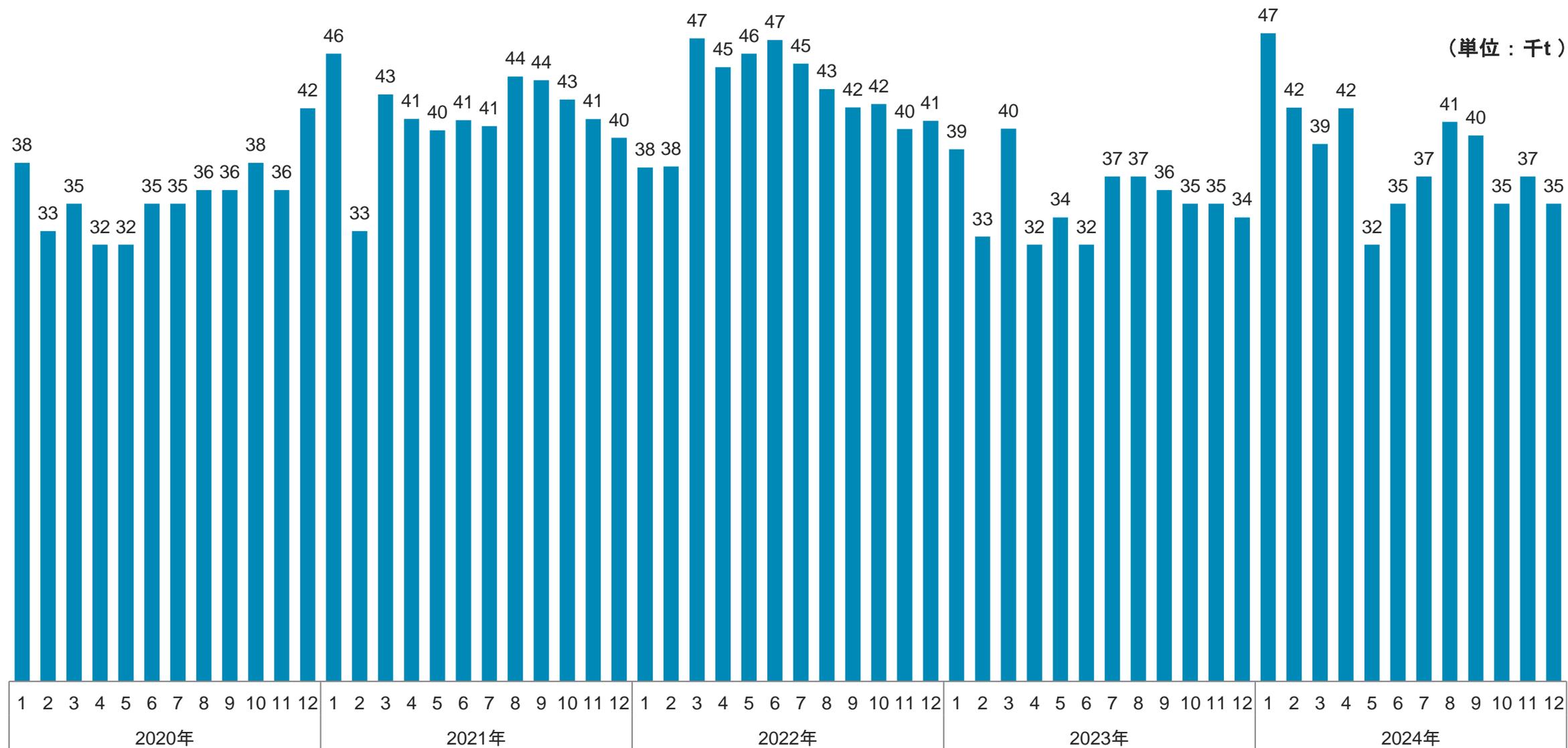
	2024年度					
	1Q	2Q	上期	3Q	3Q累計	通期見通し
売上収益	101	93	195	84	278	378
営業利益	4	2	6	△ 2	4	8
(棚卸資産影響)	△ 1	0	△ 2	△ 0	△ 2	△ 2
事業利益	5	3	8	△ 2	6	10

UATH 月次販売数量推移

(単位：千t)



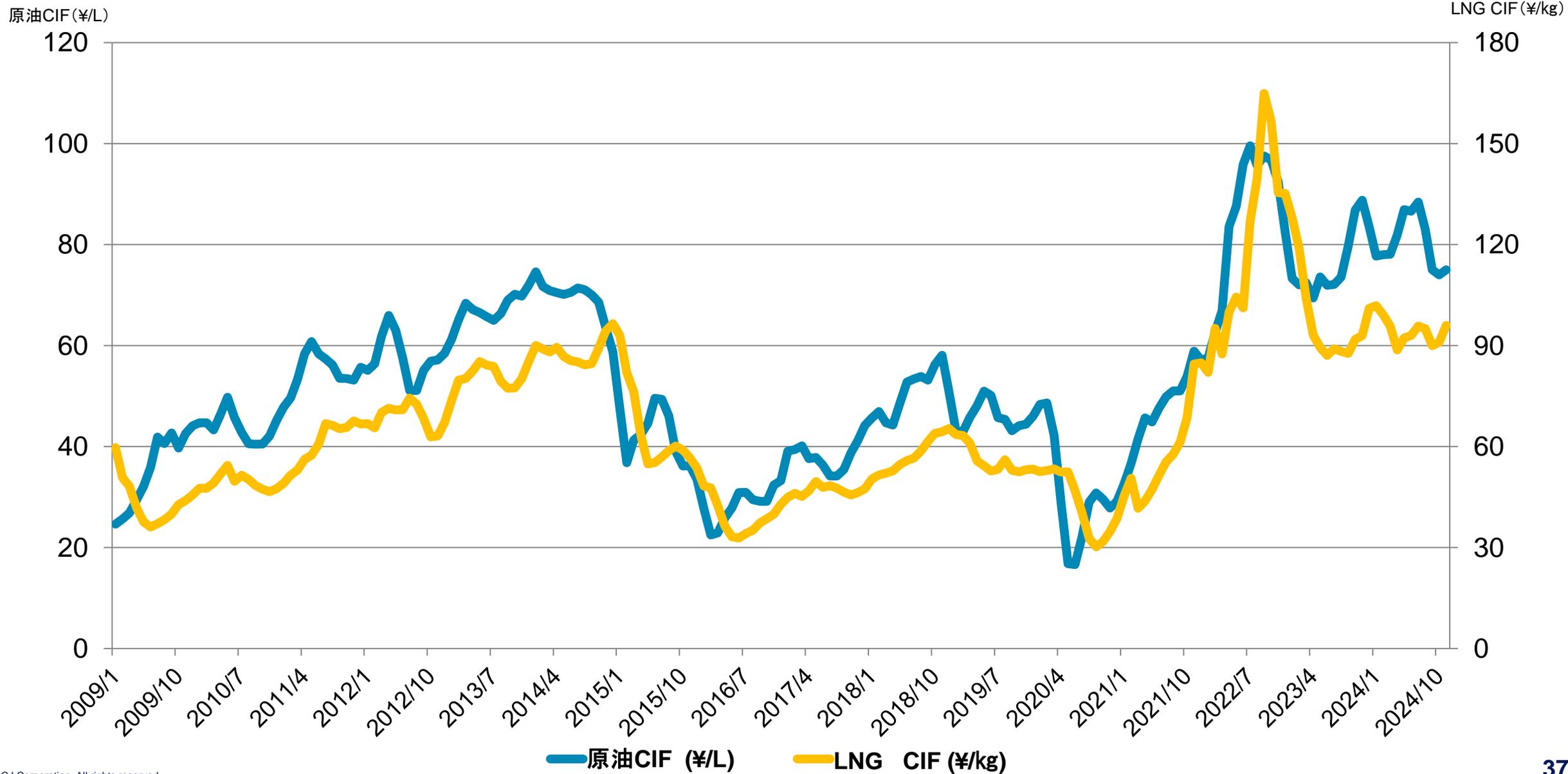
TAA 月次販売量推移



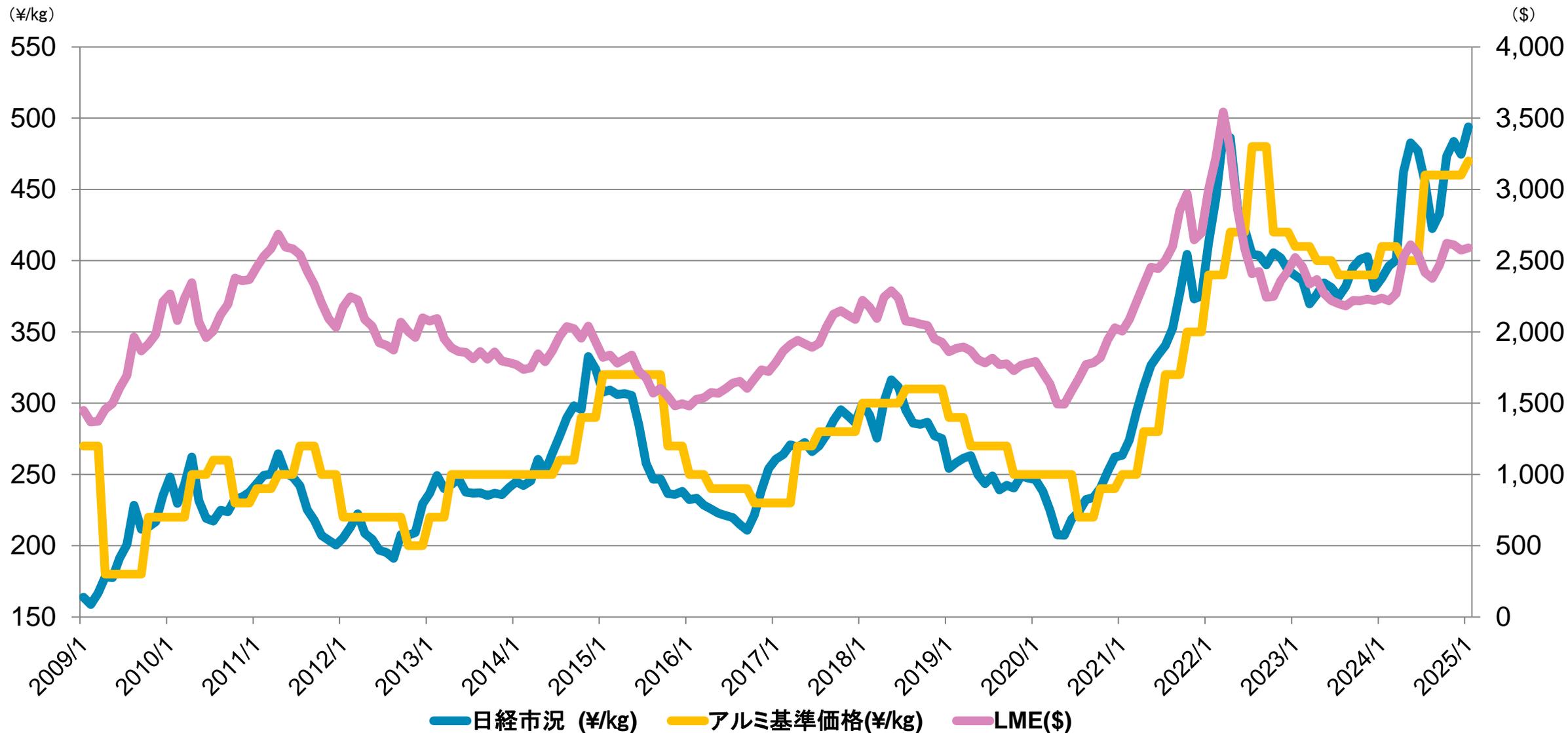
諸元と感応度

	2022年度 期中平均	2023年度 期中平均	2024年度 3Q平均	営業利益への 感応度
LME (米\$)	2,490	2,202	2,492	\$100/t上昇した場合 →+22~35億円/年
為替 (円/米\$)	136	145	153	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料単価、添加金属:円高が有利 ・ロールマージン、為替換算差:円安が有利
為替 (円/タイバーツ)	3.8	4.1	4.3	
為替 (タイバーツ/米\$)	35.1	35.2	35.2	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料単価、添加金属:THB高が有利 ・ロールマージン:THB安が有利
原油 (ドバイ:米\$)	92	82	79	10ドル上昇した場合 →△10~15億円/年

燃料単価推移



アルミ地金日経平均・アルミ基準地金



お客様に選ばれ続けるUACJであるために — ASI認証の取得

ASI(Aluminium Stewardship Initiative)

アルミニウムのサプライチェーン全体におけるサステナビリティの取り組みの向上や、ESG観点からの社会貢献を最大化することを目的とする国際イニシアチブ。

国際アルミニウム協会をはじめ、アルミニウムの生産者、加工メーカー、エンドユーザーなど様々な立場でアルミニウムに関わる企業が参画し、2012年に発足。2018年度には監査・第三者認証の運用も開始。現在世界360以上の企業・組織が加盟

福井製造所および UATHロン製造所で、ASIが発行する2つの認証を取得

UACJにとってのASI加盟の意義



ASIでの保証を裏付けに
製品を出荷

サステナブルな製品で
最終消費者の期待を実現



環境・社会・ガバナンス面で
高い基準を満たす製品を要求

”サステナブル“な
商品へのリクエスト

業界のリーディングカンパニーとして
認証取得と更新を行う。
グローバルなルール作りの場に参画していく

海外の飲料缶大手を中心にASI取得が
取引条件に設定される事例が増えている。
今後、欧州圏から他地域への拡大、他分野
への拡大が予想される。

棚卸資産影響

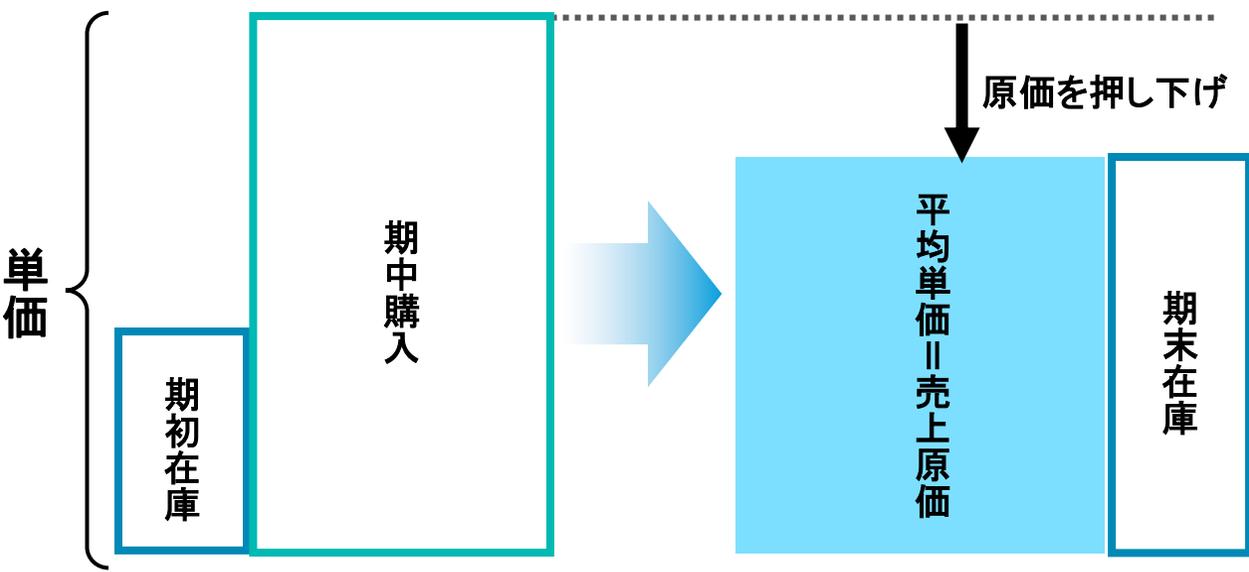
アルミ圧延事業における棚卸資産影響

- ① 平均法による材料費計算
期首在庫と期中購入アルミ地金の加重平均で、材料費を計算(期首在庫が影響)
- ② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差

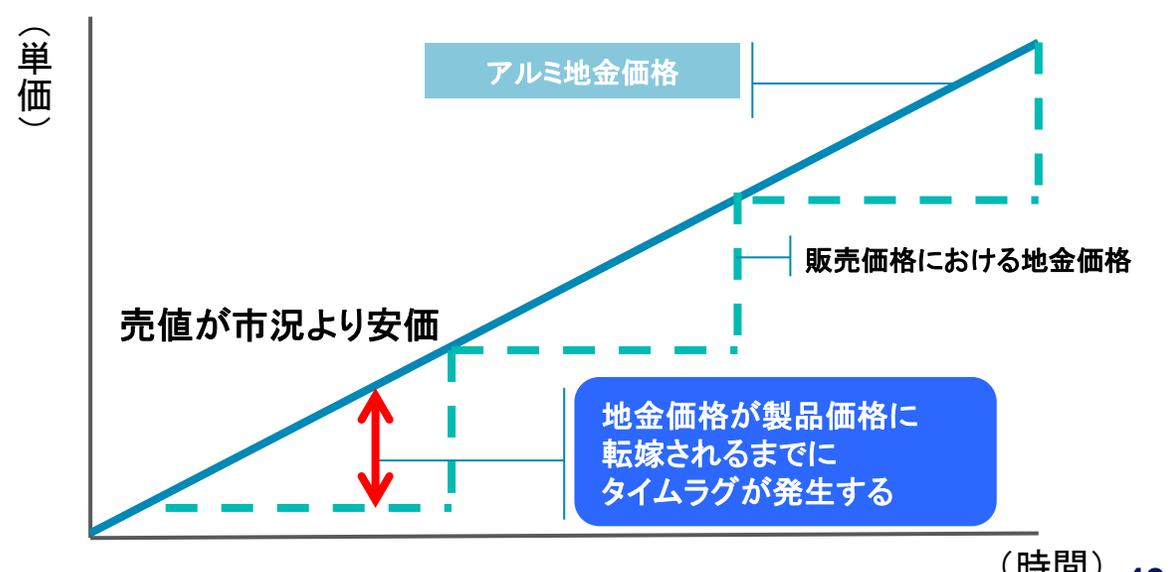
①+ ②= 棚卸資産影響

【アルミ地金価格上昇】

① 平均法による材料費計算



② アルミ地金価格変動による販売価格反映への時間的差



外部環境の変化と対応について

収益の安定化に向け、外部事業環境の変化に強い価格スキームを確立

	国内 	TAA(米国) 	UATH(タイ) 
アルミニウム地金価格の上昇	販売価格に転嫁		
エネルギー価格の高騰	販売価格への転嫁は 予定通り導入済み 電力費用の追加負担分については引き続き検討	販売価格への転嫁を実施 (市場価格連動の 価格スキームを 導入済)	契約更新(新規含む) 市場価格連動の 価格スキームを 導入済 既存契約期間中の見直し 契約更改のタイミングで 導入の交渉を実施
添加金属価格の高騰	添加金属を多く含む製品について、市場価格に連動した価格スキームを 導入済		
物流費の上昇	販売価格に転嫁		販売価格への転嫁を実施 (フォーミュラ制を 導入済)

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは、今後さまざまな要因によりこれらの業績見通しとは大きく異なる場合があります、確約や保証を与えるものではないことをご承知おきください。

また、本資料は投資勧誘の目的のための資料ではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、株式会社UACJに帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

本資料並びにIR関係のお問い合わせにつきましては、下記までお願いいたします。

財務本部 IR部

web-contact-ir@ml.uacj.co.jp

<http://www.uacj.co.jp>

(東証プライム 証券コード : 5741)



Aluminum lightens the world

アルミでかなえる、軽やかな世界

